免疫検査

血中ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

ピロリ菌は、胃の粘膜に生息しているらせん形をした悪い菌で、主に胃や十二指腸などの病気の原因となります。
子供の頃に感染し、一度感染すると多くの場合、除菌しない限り胃の中に棲みつづけます。
さらにピロリ菌の感染が続くと慢性胃炎になり、この慢性胃炎が胃潰瘍や十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎、胃がんの原因となることが明らかになってきました。
検査方法は『血液検査』『呼気検査』『便中検査』『内視鏡検査』の4種類があります。